

最後のステージには、 勇気と行動力が必要

DISC
1

トラック2

企業でも役所でも病院でも、その組織に属して仕事をしていれば、自分の意に反することもしなければなりません。そんな思いは、誰の現役時代にもあったことでしょう。

定年を迎えて、従属する義務から解放された自由を得たとき、本当はその人らしさが発揮されるはずです。

しかし、現実はどうでしょう。毎日が日曜日と、ボーッと過ごすようになってはいませんか。

人生の最後のステージに立つとき、それは仕上げの舞台ですから、私たちは生き方を自由^びに選ぶことができます。

それにはまず勇気、そして行動力が欠かせません。

六十何歳かで最後の舞台に立つことになっても、平均余命を数えれば、まだ二十〜三十年を、その舞台で演じることになります。

私は日本人の平均寿命を超えたとき、ふたたび与えられた命に、「勇気」を奮^{ふる}い立たせ、私の選択にゆだねられた生涯を「行動力」でまっとうしようと考えたのです。

